

1

議席番号 9 番

増田 剛士 議員

開始予定時間

9月16日 午前9時

【交通安全対策及び園児、児童、生徒の交通安全意識・マナー向上について】

本年6月28日、千葉県八^{やちまた}街市で児童5人が死傷する痛ましい交通事故が発生し、全国的に通学路等の交通安全施設の整備等が緊急課題として挙がっています。

当町においても、交通安全意識の高い一部住民の方から危機感を持って対策の必要性を訴える声が出ています。

不幸な被害を伴う事故は発生してからではなく、日常において定期的な交通安全施設の整備・点検が必要であると考えます。

また、そうしたハード面のみならず、ソフト面における対策として、園児・児童・生徒の交通安全に関する意識向上やマナーについて、教育現場での指導、教育が必要であると考えます。

そこで、以下、質問します。

- (1) 「第5次吉田町総合計画」交通安全対策の施策2「園児等子どもの移動経路等における緊急安全点検の実施、安全対策の推進」は、前期基本計画に記載はなく、後期基本計画に掲載されている。その理由は。
- (2) 「吉田町交通安全計画」は、第8次計画（平成18年度～平成22年度）が町ホームページに掲載されているが、それ以降の計画と進捗状況は。
- (3) 通学路における交通安全の確保について、通学路の対策箇所（平成24年12月）が公表されているが、平成24年以降の対策箇所の把握と対応は。
- (4) 住民からの要望として交通安全施設の設置があり、総合計画には「区画線やカーブミラー等の計画的な点検・整備の実施」とあるが、整備設置に関する基本的基準及び町の考えは。
- (5) 園児、児童、生徒の交通安全意識・マナーの現状把握と対策は。
- (6) 園児、児童、生徒の交通安全意識・マナー向上について、どのような指導、教育をしているか。

2

議席番号 12番

平野 積 議員

開始予定時間

9月16日 午前10時

【公共下水道事業について】

町は、令和2年度に、公共下水道事業について「汚水処理ビジョン」及び「公共下水道事業経営戦略（計画期間：令和3年度～令和12年度）」を策定しました。そこにおいて、公共下水道区域内の面整備は、令和8年度に完了予定であることが記載されています。

一方、国は、令和8年度までに汚水処理人口普及率95%以上を目標としています。

そこで、前回の一般質問の答弁を基に、以下の点について質問します。

- (1) 令和8年度まで下水道布設工事を続ける理由としての「379haに縮小した下水道の全体計画区域のうち、未整備の区域は、浜田土地区画整理事業の区域内が中心となりますことから、浜田土地区画整理事業との調整により、一般的な区域に比べて整備費を抑制しやすいこと、また、残りの事業量については、近年と同程度の事業量を、令和8年度まで継続することにより概成できる見込みであることから、下水道事業につきましては令和8年度まで整備を継続する方針でございます。」の答弁について
 - ① 浜田土地区画整理事業とどのような調整を行ったのか。
 - ② 一般的な区域に比べどのくらい整備費を抑制できるのか。
 - ③ 「残りの事業量」及び「近年と同程度の事業量」とは何か。
 - ④ 令和2年度の整備面積は4.24haとのことであるが、計画7.66haとの差をどう考えているか。
- (2) 「国が目標とする汚水処理人口普及率95%以上にするロードマップは。」に対する答弁「汚水処理人口普及率については、令和元年度末で78.9%となっており、「第5次吉田町総合計画」では、令和5年度の目標値を84%としておりますが、国が目標としている95%に少しでも近づけるような施策を今後検討し、実施してまいりたいと考えております。」について
 - ① 検討している汚水処理人口普及率向上策は何か。
 - ② 令和8年度まで下水道布設工事を続けた場合と、令和4年度以降下水道布設工事を行わず合併浄化槽での汚水処理人口普及率向上に特化した場合とではどちらの方が令和8年度末の汚水処理人口普及率は上がるのか。

【自然災害発生時における町民の、より良い避難行動のための情報提供について】

町は、東日本大震災以降「津波防災まちづくり」を喫緊の課題とし、平成23年11月に作成した津波ハザードマップに基づき15基の津波避難タワーを完成、昨年度、川尻工区における防潮堤の整備、また1000年に一度の大雨を想定した洪水ハザードマップ作成と「災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり」事業を推し進めることで、安全を形あるものとして「見える化」してきました。

そうした中、最近では、線状降水帯と呼ばれる大雨が全国で発生し、我が町の町民生活においても、少なからず、影響を及ぼしています。

町内には、一級河川の大井川を始め、二級河川の湯日川及び坂口谷川、普通河川の大幡川ほか、多くの河川が流れており、水資源に恵まれた我が町にとって、自然災害への日頃の備えはとても重要であり、町民からも、行政が行う治水対策は常に注目されており、今年度策定される新たな「吉田町国土強靱化地域計画」は、最悪の事態を回避するため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を計画的に実施し、「強靱なまちづくり」を目指すものとして大いに期待しています。

また、町民が参加する防災訓練は、年3回、9月及び12月は突発地震対応型訓練、3月は津波避難訓練を行っておりますが、コロナ禍の影響で、ここ2年間は中止となりました。また、同じくコロナ禍の影響で、行政や自治組織主催の様々なイベントも中止となり、コミュニティのつながりが希薄となりつつある現状です。

今年の8月から新たに始まった「吉田町公式^{ライン}LINE」では、スマートフォンなどの情報端末が手元があれば、いつでも、どこでも、最新の情報を受け取ることが可能となり、我が町にとって大きな飛躍となりましたが、いざという時に、町民が慌てず落ち着いた行動をするための意識づけにつながる情報提供には、まだ課題を感じます。

以上を踏まえ、以下の点について質問します。

- (1) 公表された「洪水ハザードマップ」は、どのように活用されたのか。また、今後、どのように活用していくのか。
- (2) 町民が参加する年3回の防災訓練は、9月及び12月は突発地震対応型訓練、3月は津波避難訓練を行っているが、台風や線状降水帯による大雨などの風水害の避難指示も目立っている昨今において、私は、風水害に対する防災力や町民の避難行動に対する情報・訓練などの必要性も大切と考えるが、町はどのように考えているか。

(3) 自治会へ所属していない方、町外から仕事などで吉田町へ来ている方々の、いざという時の避難行動を、町はどのように促しているのか。

平成25年に町が取り付けた「海拔何メートル」の表示板はその役割を果たすものの一つと考えるが、私は、更に、近くの避難場所やそこまでの距離なども同時に表示されることで、もっと多くの人たちを安全に導くことができると思うが、町はどのように考えるか。

(4) 町が推進している吉田町地域防災指導員は、避難指示が発令された今年の7月29日、どのような活動の場があったのか。また、どのような位置づけのもと、活動されたのか。

(5) 危機管理監を単独で配置したことによって、防災対策は良くなっているのか。また、行政の組織力は向上しているのか。

4

議席番号 3 番

盛 純一郎 議員

開始予定時間

9月16日 午後1時

【町の行政手続きにおける認め印について】

本年5月のデジタル改革関連法の成立、同年9月の中央省庁におけるデジタル庁の設立は、国が主導するデジタルガバメントの実現、また、新型コロナウイルス感染拡大の防止、リモートワークやオンライン診療、オンライン教育の推進、役所への申請・認可作業の効率化・迅速化など、町の行政に大きな変革を求めるものである。

デジタル化の実現には、自治体の基幹システムの不統一性や行政機関でのデジタル人材の不足など、様々な課題があるが、そうしたものの一つに認め印の存在がある。

「書面・押印・対面を前提とした全ての行政手続きを対象に見直しを行い、原則としてそうしたものを不要としたデジタルで完結できるようにする。」という指針が政府からも示されている。

こうしたものの推進において、現在、各自治体の取り組み姿勢は様々であるが、その中でも特に押印の必要な書面での、いわゆる「認め印」については、自治体の裁量で直ちに廃止可能なものが相当数あると考える。

そこで、その部分に絞り、以下質問する。

- (1) 当町において、国や県に求められる様式を除いた、認め印の必要な書類の種類は。
- (2) これまでに認め印が必要とされている書類のうち、廃止が妥当と考え、実際に廃止したものは。
- (3) 町として、認め印押印の廃止への今後の進め方はどのようにするか。今年度や来年度の目標を設定する考えは。
- (4) プロジェクトチーム結成等により現状の把握や優先的な廃止の可否決定などを行い、既に積極的削減に取り組んでいる自治体もあるようだが、当町にプロジェクトチーム結成などの考えは。

5

議席番号 8 番

山内 均 議員

開始予定時間

9月17日 午前9時

【町全体の水洗化構想及び合併浄化槽による水洗化計画について】

一人一人の日常生活から排出される生活排水が、河川や海を汚している。

生活排水による道路側溝や水路、河川の汚れを解消するためには、下水道区域外では合併浄化槽による水洗化が必要である。良好な生活環境を作るとは、住みよいまちをつくるための必要条件である。

現在、吉田町は、下水道事業と合併浄化槽による生活排水処理の水洗化を進めているが、「第5次吉田町総合計画」に示されているとおり、単独浄化槽から合併浄化槽への転換は進んでいない。

単独浄化槽は、し尿だけは処理するが、生活排水は直接排水路に流すこととなる。そのため、悪臭による環境悪化が起きている。合併浄化槽への事業展開は早急に必要となる。

一方、下水道区域では、排水路に流れるのは雨水だけであり、排水による環境悪化の問題は発生しない。

そこで、以下の点について質問をする。

- (1) 単独浄化槽が多数を占める旧戸建て住宅団地内では、夏季には、側溝に排出された生活排水が悪臭を発生し、環境悪化を起こしている事例がある。早急な調査が必要であると思うが、認識しているか。
- (2) 単独浄化槽による生活環境悪化の懸念に対して、どのように考えているか。
- (3) 下水道事業と合併浄化槽事業による町全体の水洗化の構想はあるか。
前回の一般質問で「この下水道事業について令和8年度までという計画を立ててやっている」との答弁があった。令和8年度は浄化槽行政への転換期になるのか。
また、合併浄化槽における水洗化計画の必要性をどう考えるか。

6	議席番号10番	八木 栄 議員	開始予定時間 9月17日 午前10時
<p>【中央幹線整備事業について】</p> <p>町内の都市計画道路は、津波防災まちづくり等により、飛躍的に整備が進みました。</p> <p>しかし、いまだに未整備のところもあります。今回、私は、都市計画道路中央幹線について、質問します。</p> <p>中央幹線は、西は、寄子橋から住吉のほぼ中央を東に走り、東村地区で止まっています。この間については、ずいぶん前から使用しておりますが、一部歩道の無いところがあり、とても気になっていました。</p> <p>この地域に暮らす人達やこの道路を利用する子どもから高齢者の方々の安全を確保し、安心して通行できるためにも、歩道の早期整備が必要であると考え、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 実施計画書には、中央幹線整備事業として、令和3年から5年にかけて77,401,000円の事業費が計上されており、事業完了の予定は、令和6年度以降となっている。年度別に事業内容は。</p> <p>(2) 歩道の無いこの区間について、どのような意見が出ているか。</p> <p>(3) 早期の歩道設置が望まれるが、町としての考えは。</p>			

7	議席番号 6 番 蒔田 昌代 議員	開始予定時間 9月17日 午前11時
<p>【妊婦への新型コロナワクチン接種について】</p> <p>令和3年8月17日に、緊急事態宣言に係る吉田町の対応方針とともに、担当課から新型コロナワクチン接種について、その進捗状況と接種計画についての報告がありました。</p> <p>8月23日現在、県内における新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、当町においても、新型コロナウイルスの感染者数は、増加傾向を示しています。</p> <p>報道によれば、千葉県内では、新型コロナウイルスに感染し、自宅療養中だった妊娠29週妊婦が、医療機関の受入れが難航し、自宅で早産し、赤ちゃんが死亡したニュースが報道され、全国に衝撃を与えました。</p> <p>自宅療養者が増加し、容体急変時の対応の重要度が増す中で、県内の医療機関の受入れも大変厳しい状況であると考えられます。</p> <p>そこで、接種計画において、今後の年齢階層別の接種計画で妊婦の接種計画についてと医療機関への受入れ態勢について、以下の点について質問します。</p> <p>(1) これまで、新型コロナワクチン接種を受けた妊婦の数は。</p> <p>(2) 妊婦への新型コロナワクチン接種について、どのような相談があったか。</p> <p>(3) 妊婦の医療機関への受入れ態勢について、県や医師会との話し合いはされているか。</p>		

【子宮頸がんワクチン接種について】

現在、コロナ禍での新型コロナワクチン接種が主である中で、子宮頸がんワクチン接種については、厚生労働省の積極的勧奨が中止となったままです。

そうした中、先日、新聞の記事で、子宮頸がんが妊婦健診で発見される数が年200人超とありました。

当町では、子宮頸がんの検診を行っておりますが、今年度、各自治体は、対象者全員に子宮頸がんワクチン接種について、接種のお知らせをしたということを知りました。

そこで、子宮頸がんワクチンの接種状況について、以下の質問をします。

- (1) 積極的勧奨が中止となってから、子宮頸がんワクチンの接種者の数の推移についての分析は。
- (2) 子宮頸がんワクチンの接種者の、数と検診率と検診結果を踏まえて、どのように対応するのか。